

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

5-II-11

5-II-11

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	11 耕作放棄地等の再生・活用	事業主体	佐渡市農業政策課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】 ○耕作放棄地等を再生・活用することにより、地域振興及び交流人口の拡大を図る。</p> <p>【事業内容】 ○農作業、収穫体験等、グリーンツーリズムを活用した交流事業の実施や、棚田や果樹等のオーナー制度の拡充を図る。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】 ●農林水産省、新潟県、佐渡棚田協議会で製作する「棚田カード」などを活用し、関係人口、交流人口の拡大を図りオーナー制度の持続性と耕作放棄地の活用法を図っていく。</p> <p>【元年度実績】 ●「棚田カード」を制作し、棚田に興味・関心ある来訪者がカードを求めて現地を訪れており、関係人口、交流人口の拡大につながった。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■オーナーへの特典やイベント内容の充実など、受け入れる側の意識の啓発が引き続き必要であるとともに、オーナー制度の持続性を高める体制づくりが急務となっている。</p> <p>【今後の取組】 ■小倉千枚田オーナー制度の持続可能性を高めるため、地元管理組合の適切な収益を確保し、事業継続を高めていく。更に佐渡棚田協議会が積極的に関わり、オーナー田周辺の耕作放棄地を活用し、交流促進を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a ● b · c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a ● b · c ]</p> <p>【総合評価】 [ A ● B · C ]</p> <p>◇概ね計画どおり進んでおり、棚田の保全と活用、交流促進につながっている。担い手の高齢化などの課題もあることから、引き続き、佐渡棚田協議会が中心となり、地域振興及び交流人口の拡大につなげる。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。